



まやしも

うまもん

5月号

令和4年5月25日
岡山市立馬屋下小学校

少しずつ 豊かさを増やして



コロナ禍ももう3年目となり、教育への様々な影響が言われてから久しいですが、その間に世の中でわかってきたことや、ワクチン接種の社会全体での普及などが進んできたこともあり、その対応は徐々に変わりつつあります。

昨年の今の時期は、歌唱や楽器の演奏は禁止。海の学校や山の学校の延期などといった対応を行っていました。

現在は歌唱や楽器の使用にも制限はありませんし、行事等も徐々にその実施の仕方に戻しつつあります。また、中学校では宿泊での修学旅行が行われるなど、大きな変化が訪れています。

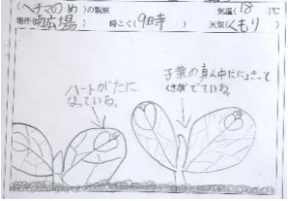
今後も感染状況を見ながらの判断という点は変わりませんが、市教委の指導を受けながら、実施方法を工夫し、子供にとって必要な学習や体験を確保してまいりたいと思います。

今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

外部講師を招いての租税教室。税金の意味、社会のつくりについて学びました。真剣なまなざしは大人と変わりません。



葉の大きさをものさしで。葉っぱのにおいを感じて。葉の表面の質感を、そっとやさしい手つきで触れて。客観的な数字と、五感を通した気づきの両方でとらえる観察が、世界をとらえる本物の目を育てます。そして将来の仕事や生活を豊かにします。



ハートの葉脈、葉が中心から出てくることなどとてもよく見えていますね。ささやかなことですが、こういう一つ一つの気づきを「すごいね!」と大人は受け止めてあげたいものです。



市の環境局からパッカー車やゴミ分別などについての学習をしに来ていただきました。本物の車、専門家のお話。本物の力にいっそう真剣に学習に取り組むことができていました。



8つのおはじきを両手に分けて持っていて、隠している方の手の中にいくつのおはじきがあるかあてています。数の分解・合成を頭の中でできるようにする遊びです。足し算引き算ができるようになる極めて重要な遊びなのです。

避難訓練

4月27日



火災による避難訓練です。話もせず、押したりふざけたりすることもなく避難できました。消防団の方から、講評をいただいたり、放水の様子を見せていただいたりしました。子供たちは、放水の様子や火災に気をつけるお話を真剣に見たり聞いたりしていました。地域防災は地域の方お一人お一人の力によって支えられている、ということを知り、自分もこの町を大切にすることに意識を向けられるようになってほしいと願っています。お忙しい中、ありがとうございました!

まやしも祭り 5月19日

校内テレビで行った昨年一昨年と変わって、今年はお店を出す形のまやしも祭りに戻して行いました。どうやったら祭を実行できるか。密にならなくて、でも、小さい子でも楽しめるもの。子供たちは真剣に話し合い、計画し、準備し、実行しました。間隔をあけて待つ場所、消毒液の設置などの衛生対策。小さい子にもわかりやすい遊びやその説明の工夫。お土産はあげられないけど、うまくできたら大いにほめて盛り上げてあげる…。子供が子供なりに精一杯考えて実行したことに、大きな値打ちがありました。



上学年の子供は下学年の子供に自然とにやさしくしてあげていました。まやしもっらしいですね! すばらしい!



消毒をして、親切にエスコート。しゃがんで目線を合わせて盛りあげている子も。遊びにも工夫がたくさんありました!



下学年は上学年にお返しのお手紙を書いています。持っていたら上学年の子から自然に拍手で迎えられて…。これもまた、とってもうれしいことですね!



どのお店からも笑い声が聞こえて、楽しんでいたね! 笑顔で学校が一つになれてよかった! ♪ 6年生の人は放送や看板など学校全体のためになる仕事もしてくれたね。ありがとう!



ぶんちゃん

子供たちの中に、実行力、表現力、自信など、さまざまな力が育まれたと感じました。学校の皆で楽しむ中で、学校としての一体感も生まれました。なにより「こういうことがしたかったんだ!」という生き生きとした喜びがあふれていました。その表情から、活気から、「今、幸せだよ!」という気持ちを、容易に見とることができました。したいことを実現し、生活を豊かに楽しくしようと頑張った子供は、満足感に満たされます。そして、大人になって、いつかまた困難なことに直面しても、仲間や家族と工夫して楽しむことのできる大人、さらに、馬屋下の地域や、岡山市丸ごとを、よりよく暮らせるように汗をかき、より良くしていく大人に育つと思っています。これからも、小学生として、自主性や自治力の芽を育てたらと願っています。